

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp
 agree-sys@excite.co.jp
 HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：9：00～17：00
 休館日：月曜日
 問い合わせ：0465-81-5339
 HP：http://edomingu.com/



春日大社

千年の至宝

東京国立博物館 3月12日まで

奈良時代の初めに国家の平安と国民の繁栄を祈願するために創建された春日大社。本展社外ではめつたに拝観できない貴重な古神宝の数々とともに、春日の神々への祈りが込められた名品を展観できる。

王朝工芸の名宝とともに

世界遺産の一つである奈良・春日大社は、奈良時代の初め、平城京の守護と国民の繁栄を祈願するため創建され、古くから鹿を「神の使い」神鹿（しんろく）として大切にしてきた。

本展では、「平安の正倉院」と呼ばれる王朝工芸の名宝とともに、貴重な中に、刀剣類、武器武具、春日信仰にかかわる絵画・彫



展示内で圧倒したのが”太鼓”の存在

刻などの名品の数々を一堂で紹介されている。

【みどころ】

第1章 神鹿の社

本章では、春日大社の創祀を物語る歴史資料や絵画作品、そして神々しくも親しみにあふれる「神鹿」に関する美術などを展示。

第2章 平安の正倉院

本章では、王朝時代の雅と美を今に伝える国宝の品々をご紹介します。

第3章 春日信仰をめぐる美的世界

本章では、春日の神々への祈りを表わした選りすぐりの名品を展示。

第4章 奉納された武具

本章では、春日大社に伝わる国宝の甲冑や刀剣などを一堂に展観できる。

|| 2面に続く ||

次号は
2月9日発行

熱海湾を一望でき、眺望ナンバードワンの美術館

■MOA美術館（静岡県熱海市桃山町26）
電話0557-（84）2511

一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円
木曜日休（祝日は開館）

JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中!

■諸橋近代美術館（福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23） 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円生*毎週土曜日、小・中学生は無料
電話0241(37)1088



|| 1面からの続き ||

第5章 神々に捧げる芸能

本章では、こうした祭礼の際に神前に奉納された舞楽や能など、芸能に関わる作品を紹介。

第6章 春日大社の式年造替
本章では、御造替に関わ



東京国立博物館 平成館 (東京都台東区上野公園13-9) Tel 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 大学生1200円 高校生900円 中学生以下無料 月曜日休館

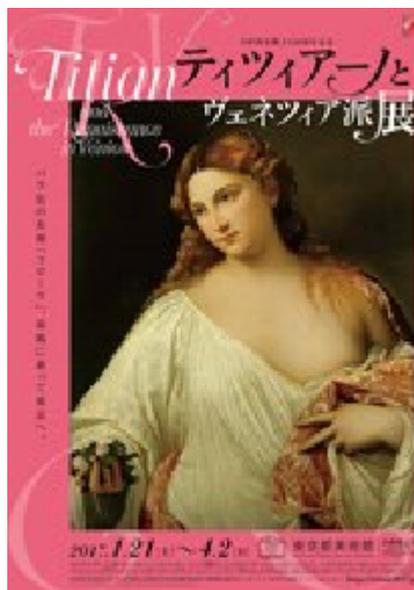


る記録とともに、今回の御造替で御徹下(こてつか)され注目を浴びた獅子・狛犬などを展観できる。

メモ

◆ 1月17日 (火) ~ 3月12日 (日)

(日)



日伊国交樹立150周年記念

ティツィアーノとヴェネツィア派展

東京都美術館

ルネサンス美術の中心地

アドリア海に面する水の都ヴェネツィアは、15世紀から16世紀にかけて、海洋交易によって飛躍的に繁栄するとともに、フィレンツェ、ローマと並ぶルネサンス美術の中心地として輝かしい発展を遂げた。絵画の分野を中心に美術の進展をみたヴェネツィアでは、ベッリーニ工房、ヴィヴァリーニ工房から、多くの優れた画家たちが輩出された。なかでもティツィアーノ(1488/90

1576)は、自由な筆づかいと豊かな色彩を特徴とする独自の様式を確立し、その絵画はヴェネツィアのみならず、ヨーロッパに広く影響を与えた。80年以上に及ぶ長い生涯のなかで、ヴェネツィアの主要な聖堂や貴族たちからの絶え間ない注文に応えただけでなく、ヨーロッパ諸国の君主や教皇のための絵画も制作した。その斬新な油彩画法は、近代絵画の先駆とも評される。

メモ

◆ 1月21日 (土) ~ 4月2日 (日)

東京都美術館 企画展示室 (東京都台東区上野公園8-36) Tel 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 大学生・専門学校生1300円 障害者(一般)1500円 高校生800円 65歳以上1000円 中学生以下は無料 月曜日、3/21休館(ただし、3/20、3/27は開館)

本展には、初期から後期までのティツィアーノ作品7点(うち2点はティツィアーノと工房による)が出品されている。

2. 《ダナエ》日本初公開

ユピテルが黄金の雨に姿を変え、美しい娘ダナエと交わる官能的な場面を描いた《ダナエ》。ティツィアーノの見事な腕前で描き出された神話画の傑作が初来日した。

3. 色彩の絵画

ヴェネツィア派の画家たちの多様な作品を通じて、豊かな色彩感覚と絵具の存在感、光に包まれたような柔らかな造形を楽しめる。

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市城内町1-17) 電話03(5777)8600 ハローダイヤル 一般4200円、高校・大学生2500円、中学生以下無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本 など多岐にわたる

静岡市立芹沢銚介美術館 (静岡市駿河区登呂5-10) 電話054(282)5522 一般4100円 高大生2500円 月曜日休館

庭園ゾーン 書院ゾーン 体験ゾーン 展示ゾーン

北九州市立小倉城庭園 (北九州市小倉北区城内1-2) 電話093(582)2747 会期中無休

ナビ派芸術を 日本で初めて

19世紀末、ゴーガンの芸術や日本の浮世絵から影響を受け、パリで結成された前衛的な若手芸術家集団「ナビ派」。自らを「ナビ(預言者)」と呼んだこのグループは、ボナール、ヴェイヤール、ドニ、ヴァロットンらを中心に、静かながら革新

的な活動を繰り広げていく。

本展は、最も重要なナビ派コレクションを有するオルセー美術館の監修により、こんにち国際的に評価が高まるナビ派芸術を日本で初めて本格的に紹介するもの。

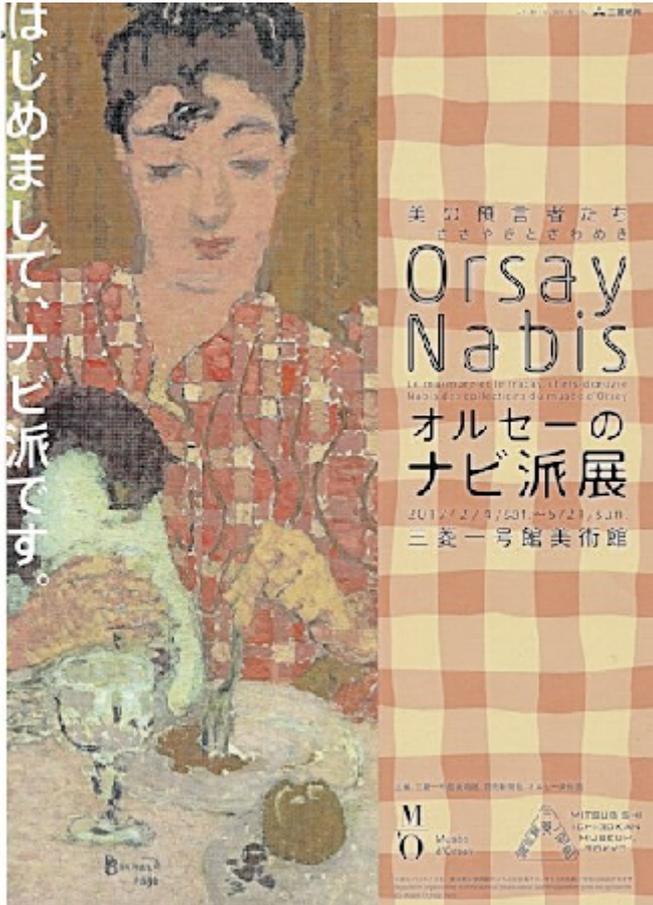
みどころ

①フランス近代美術の殿堂

美の預言者たち ささやきとざわめき

オルセーのナビ派展

三菱一号館美術館



はじめまして、ナビ派です。

堂 オルセー美術館が誇る

「ナビ派」コレクションを一堂に。

②国際的に評価が高まる「ナビ派」芸術を、日本で初めて本格的に紹介

③19世紀末の美の預言者「ナビ派」 20世紀美術を予兆する 知られざる革新性に注目。

メモ

◆2月4日 (土) ~ 5月21日 (日)

三菱一号館美術館(東京都千代田区丸の内2-6-2) 電話03-5777-7777

8600(ハローダイヤル) 一般1700円 高校・大学生1000円 小・中学生500円 月曜日休館(ただし、3/20、5/1、5/15は開館)



ゴッホとゴーギャン

愛知県美術館

点を当てた、日本初となる展覧会を開催。オランダの牧師の家庭に

世界中の人々に愛されてやまないこの二人

フィンセント・ファン・

ゴッホ(1853~1890)とポール・ゴーギャン(1848~1903)。

19世紀末に活躍し、今なお世界中の人々に愛されてやまないこの二人の画家に焦

メモ

◆2月4日 (土) ~ 5月21日 (日)

愛知県美術館(愛知県名古屋市中区東桜1-13) 電話050-5542-8600(ハローダイヤル)

一般1500円 高校生1200円 中学生以下は無料 月曜日休館(ただし、3/20は開館)

育ったファン・ゴッホと南米ペルーで幼年期を過ごしたゴーギャンは、生い立ちや性格だけではなく、絵画表現も大きく異なる。ファン・ゴッホは現実の世界から着想を得て、力強い筆触と鮮やかな色彩による作品を生み出し、ゴーギャンは、装飾的な線と色面を用いて、目には見えない世界をも絵画に表現しようとした。

1888年、彼らは南仏アルルで約2カ月の共同生活を送る。ともに制作し、時には激しい議論を重ねながら刺激を与え合った。

本展は、ファン・ゴッホとゴーギャンの初期から晩年にわたる油彩画約50点を含む約65点を展示。二人の画家の特徴を浮き彫りにし、その関係性と芸術性に光を当てる。

ホキ美術館 7周年記念

ホキ美術館プラチナ大賞の新設 第3回ホキ美術館大賞の公募

特集

ホキ美術館は、2010年11月にオープンして以来、今年で7周年を迎える。2013年より「ホキ美術館大賞」をはじめ、現在第2回目の入選作品を展示中。このほど「ホキ美術館プラチナ大賞」を新設、その内容が

写実絵画の発展と、作家と歩む美術館を

ホキ美術館の開館当時は約300点のコレクションでスタートしていたが、現



ホキ美術館プラチナ大賞の新設 第3回ホキ美術館大賞の公募



ホキ美術館の展示風景

ホキ美術館名品展がふくやま、佐賀に巡回。第2回ホキ美術館大賞展5月まで開催中。

ホキ美術館は、おかげさまで本年11月に7周年を迎えます。2010年に300点でスタートしたコレクションは現在約450点になりました。

2013年より2館を併せ、ホキ美術館大賞については、現在第2回目の入選作品の展覧会を開催しております。例年同様、ホキ美術館大賞も含め、作家同士が切磋琢磨し、五年の写実作品は確実に高次元のものになってきているのを感じます。

また、昨夏より、ホキ美術館のコレクションの巡回展を始めました。昨年は秋田県立近代美術館と大阪のいせうめだギャラリーを回り、地元の方々の皆様に親近に写実絵画を鑑賞いただくことができました。本年度は、1月にふくやま美術館、3月に佐賀県立美術館を巡回いたします。さらに、2018年秋には、スペイン・バルセロナの写実美術館MEAMにて、初めてホキ美術館の展覧会を行うことになりました。

本年も写実絵画の発展と、作家と歩む美術館を目指してまいりたいと思っております。そして多くの方々に写実絵画をより深くご鑑賞いただければとよりよりです。



ホキ美術館長 保木博子

在では約450点に膨れ上がり、じつくりと成長を遂げ、ホキ美術館コレクションが、巡回展もはじめるようになった。

2016年度は秋田県立美術館と大阪のいせうめだギャラリーを巡回した。2017年の今年は1月にふくやま美術館(1月21日)3月12日 驚きの写実絵画ホキ美術館名品展)、3月には佐賀県立美術館(3月29日)5月14日 世界初!写実絵画専門美術館の超絶リアリズム、特別公開。ホキ美術館名品展)の予定も決まっていますし、2018年にはスペイン・バルセ

ロナ美術館にも展覧できるようになり、写実絵画の発展と、作家と歩む美術館を目指している。

ホキ美術館 大賞

2013年より公募をはじめた「ホキ美術館大賞」も、今年で第2回目の入選作品がギャラリーにて開催(ギャラリー1にて、2016年11月18日)2017年5月15日まで展示中)され、人気を博している。3年ごとに40歳以下の若手写実作家の発掘と育成を目的に開催されている。

第3回展を2019年11月中旬に開催する。7月(2018年7月)を応募期間とし、最大45点の入選作品を2018年11月より、展示する。

・応募規定…40歳以下の作家による未発表の写実絵画作品

・応募期間…2017年7月(2017年7月)7月

・作品サイズ…A) 50100号 B) 100号

・審査と発表…写真による第1次審査 実物による第2次審査を経て2019年9月に発表

・展覧会…2019年11月から半年間ギャラリー1で展示

・賞金; 大賞1名 150万円(50100号) 準賞1名 70万円(1040号) 特別賞(鑑賞者による2月末までの投票で決定) 3月上旬発表 100万円

*2次審査では出品手数料が1作品5000円かかります。

*選考はホキ美術館保木将夫と館長の保木博子が行います。

ナ大賞(41歳以上の写実作家対象)

・応募規定: 41歳以上(2018年7月1日現在)の作家による未発表の写実絵画作品(2016年以降の制作)

・応募期間…2017年7月(2017年7月)

・作品サイズ…1020号

・審査と発表…写真による第1次審査 実物による第2次審査を経て2019年9月に発表

・展覧会…2019年11月から半年間ギャラリー4で展示

*2次審査では出品手数料が1作品5000円かかります。

*選考はホキ美術館保木将夫と館長の保木博子が行います。

メモ

◆ホキ美術館 (千葉県千葉市)

緑区あすみが丘東3(15)

TEL 043-205-1500 一般1800円 高校生・大学生・65歳以上1300円 中学生900円 小学生以下無料(大人1人につき小学生2人まで)

火曜日休館(火曜日が祝日の場合は開館して翌日休館)

ホキ美術館 プラチナ大賞

第1回ホキ美術館プラチ

2017年2月19日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●国立科学博物館 「世界遺産 ラスコール展 クロマニヨン人が残した洞窟壁画」 2月19日まで ㊦035777 86000 (ハローダイヤル) 一般16000円 月曜日休館

●東京国立近代美術館 「瑛九1935 1937 闇の中で「リアル」をさがす」 2月12日まで ㊦035777 8600 (ハローダイヤル) 一般4300円 月曜日休館

●江戸東京博物館 「戦国時代展 A Century of Dreams」 1月29日まで ㊦033626 9974 一般13000円 無休

●江戸東京博物館 「徳川將軍家の婚礼」 2月19日まで ㊦033280

0099 一般6000円 無休

●東京都写真美術館 「アピチャポン・ウィーラセタクン 亡霊たち」 1月29日まで ㊦035777 8600 (ハローダイヤル) 一般16000円 月曜日休館

●山種美術館 「日本面の教科書 京都編」 2月5日まで ㊦035777 8600 (ハローダイヤル) 一般12000円 月曜日休館

●出光美術館 「岩佐又兵衛と源氏絵 <古典>への挑戦」 2月5日まで ㊦035777 8600 (ハローダイヤル) 一般10000円 月曜日休館

●三井記念美術館 「日本の伝統芸能展」 1月28日まで ㊦035777 8600 (ハローダイヤル) 一般13000円 月曜日休館

●ワタリウム美術館 「ナムジュン・パイク展 笑っているのは誰?」 1月29日まで ㊦033402 3001 一般1000円 月曜日休館

東京郊外

●Bunkamura ザ・ミュージアム 「マリメッコ展 デザイン、フアブリック、ライフスタイル」 2月12日まで ㊦035777 8600 (ハローダイヤル) 一般14000円 無休

●渋谷区立松濤美術館 「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」 1月29日まで ㊦033465 9421 一般5000円 月曜日休館

●練馬区立美術館 「粟津則雄コレクション展」 2月12日まで ㊦033577 1821 一般3000円 月曜日休館

●町田市立博物館 「昔話の道具 むかしむかしにあつたとさ」 2月12日まで ㊦042726 531 一般3000円 月曜日休館

関東南部

●鎌倉国宝館 「北斎と肉筆浮世絵 氏家浮世絵コレクションの至宝」 2月5日まで ㊦046720753 一般4000円 1/16休館

●茅ヶ崎市美術館 「かすかな光・覚めて見る夢 森栄二十森京子展」 2月5日まで ㊦046781177 一般5000円 1/10、11休館

●佐野美術館 「名刀は語る 磨きの文化」 2月19日まで ㊦055977278 一般1000円 木曜日休館

関東北部

●埼玉県立美術館 「日本におけるキュビズム ピカソ・インパクト」 1月29日まで ㊦0488240111 一般5000円 12/28、月曜日休館

●茨城県自然博物館 「外(よそ)から運ばれて来た生き物たち」 1月29日まで ㊦0297382000 一般7400円 月曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般15000円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)13000円、中学生・小学生8000円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを染しめず

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300) 432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

*お出かけ時は再度ご確認下さい。

Art Topics

「DAVID BOWIE is」 の”ALL TIME” チケット完売

「20世紀で最も影響力のあるアーティスト」デヴィッド・ボウイの世界観やキャリアを総括した大回顧展「DAVID BOWIE is」を寺田倉庫G1ビルにて4月9日まで開催中。開催期間中のお好きな日に1回入場が可能な「ALL TIMEチケット」が好評につき完売された。主催者から発表された。当チケットの完売に伴い、新たに2月の平日であればお好きな日時に1回入場が可能な「2月平日限定入場券は、1月27日(金)10:00〜2月27日(月)23:59の間、チケットぴあ」にて販売される。



ホルヘ・マリ 25年の軌跡展

芸術家 Jorge Marin
Jorge Marin
Retrospective of his works 1992-2016
Sculpture, Oil, Lithograph
Jan 6/Fri - 31/Fri 2017 wed closed
12-18 hours, day 19: 5a-7p-22

Art Gallery LOS PINOS & Cafe

**メキシコで
人気彫刻家**
メキシコで最も人気のある彫刻家 Jorge Marin。近年は空港から省庁のロビー、世界各地の美術館に收藏されて、不動の地位を築いている。当ギャラリーでは、25年にわたって蒐集してきた彫刻作品、油彩、そして最新のリトグラフなど、世界で認められた作品群で新春を飾りますので、お楽しみに。

メモ ◆1月6日(金)〜31日(火)
Art Gallery LOS PINOS & Cafe (神奈川県藤沢市南藤沢7-16-102) Tel 0466-12612000
水曜日休廊 14(土)は夜間(18時〜22時)のみの営業となりますので、ご了承下さい。

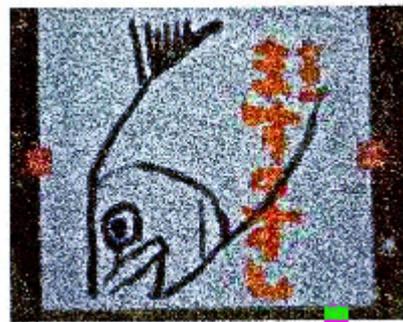


中川一政美術館の 臨時学芸員を採用募集



真鶴町立美術館である中川一政美術館の臨時学芸員を募集！平成28年12月1日(木)から平成29年4月1日採用の臨時学芸員。業務内容：中川一政美術館における管理運営、学芸業務及び事務に従事する。なお、美術館の管理運営については、保管する資料の収集や研究、適切に整理分類・保管・展示替え作業等が含まれる。採用予定人数：一名 採用予定日：平成29年4月1日 〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244番地の1 中川一政美術館宛へ。

今回は、所蔵の装丁原画の全てと装丁本を始め、当館では10年ぶりの展示となる中川画伯デザインの新約30本を合わせて展示。
・期間 12月1日(木)〜平成29年3月28日(火)



・入館料 大人600円 高校生以下350円
・問い合わせ 中川一政美術館 Tel 0466-1128

美術館第2回テーマ展示 中川一政の装丁の 仕事とデザイン